

KOBE POST

とか全員素人ばかり。でもみんな好きだから楽しんでながらやっています……」

神戸にこんなミュージカルサークルがあるのです。

今まで六回オリジナルミュージカルを第一にしていて、それが特色です」というアドバイザー

も中西勝、望月美佐、細川董、たかはしもう、佐藤廉さんと月刊神戸っ子には馴染み

(樋口一葉原作)などなど。

演じ物は「ちいさこべ」(山本周五郎原作)

本週五郎原作「竹くらべ」

宝塚好き? 素人でも、初心者でも歌って踊って、もちろんレッスンはしますけど

……12月には「ちいさこべ」を再演して施設へ慰問

に巡ります。リーダーの竹森さんを中心とした若いグ

ループです。参加なさりた

い方は書六二一一三五二七

八〇

★ロックミュージカルをやりたいのです。

「ただ今のところメンバーは15人。会社員とか、学生



花時計

「柳笑亭」秘話

「柳笑亭」この寄席が開

えて、商売をはじめそれが軌道にのったところで、若い頃からの血が燃え

た。それが「柳笑亭」を創る動機である。

「私は大阪人なんですわだから、上方ことばを大切にしたい」と切実に思つた。「上方の古典落語こそ、上方文化のニュアンスを伝えるもの、これを継承するのは我々の努力でよ」という。

かるて11月で満三年を迎えるにいたつている。

この「柳笑亭」の面倒を見てきたのが、馬野満雄氏で箸を商う「はしまん」のご主人である。

この馬野氏(43)は若い頃は新劇にとりつかれた

編集長の矢崎泰久さんが、中山千夏さんとの対談集「精力舌論」を話の特集から出した。いわく、「ご存じご兩人が、右も斬りま左も斬る。独断と偏見にみちた、毒々しく、華々しい、スキヤンダラスな対談集。一部圧倒的読者へ愛をこめて」

悪口はどんどん言おう/ええじゃないか、刑法改悪ほか話題満載で九五〇円。ユニークなお仲人所「小泉バー・ティ」誕生このバー・ティを主宰する小泉正巳さんは「最近は、減法忙がしくせちがらい」時世、昔のように親切な月下水人が少なくなつた。実

際には仲人役というのではなく役割。私どものバー・ティは調査を厳密にさせていた。だいた上でご入会いただいたシステム、信用度を第一にしているのが特色です」というアドバイザー

も中西勝、望月美佐、細川董、たかはしもう、佐藤廉さんと月刊神戸っ子には馴染み(樋口一葉原作)などなど。

演じ物は「ちいさこべ」(山本周五郎原作)「竹くらべ」(山本周五郎原作)などなど。

ユージカルをやつたそうで今まで六回オリジナルミュージカルが開かれ、高橋益さんの「モウ想マンガショーム」、より落語家「モウジナル作品を展示されました。初日二十五日はオープニングパーティーが開かれ、高橋益さんの「モウシを語る、お笑い大全集」など、美佐女史を囲んでの飲み、食べ、語り、遊びお祝い会が開かれました。

★十二月十九日(金)午後6時より神戸生田会館4階ホール、クリスマスバー・ティ(主催者「今岡頃子、花柳芳恵一子、上月倫子寺井昭子、藤本ハルミ、岡田美代中島喜子、柳本薰、市村私子、高月照子、中西美代子、小泉美喜子らによるたべる会のメンバーチケット5000円)。今年も趣好をこらしてのプログラムと貢品またマカブワール、ダービーなどを愉快に行います。お申込み月刊神戸リスマスバー・ティは、水曜日午後6時より9時迄生田神社会館で開かれます。プログラムの中でユニークなのは、ラウンドデュエティ。K・F・S・メンバーチの遊びのデザインものや、神戸のメイカーモのゲスト作品といろいろ。チケット5000円お申込み月刊神戸★デザイナーの山口昭さんが、六甲台に「AWORD」の事務所を開かれました。グラフィックデザインを中心、種々のデザイン・計画を行います。『COPA』はインテリア・オブジェの手作り作成、AIRはイラストレーション(人物、風景建築)を得意とする者たちの仕事場や制作会社です。

演劇青年であつた。そして、商売をはじめそれが軌道にのつたところで、若い頃からの血が燃えた。それが「柳笑亭」を創る動機である。

「私は大阪人なんですわだから、上方ことばを大切にしたい」と切実に思つた。「上方の古典落語こそ、上方文化のニュアンスを伝えるもの、これを継承するのは我々の努力でよ」という。

割制度でやつているので表向きには採算はとれている。だが年間百万ぐらいいの出費は馬野氏が引受けているようだ。このようにして文化が育てられていているのだ。この心意気を買いたい。

(Y)

Merry Christmas



きらめく神戸の夜を
あなただけの落ち着いた
メンバーズクラブで……

MEMBER'S CLUB

和セイドン

神戸市生田区中山手通1丁目88
TEL (078) 321-0491

かがやくシャンティア
あなたの夜を華麗に彩る
サパー〈ジャルダン〉



SUPPER

ジャルダン

神戸市生田区中山手通1丁目91-66
TEL (078) 391-0994

まだ遅くない

葉月一郎
(題字も)



儀式

「まだ遅くないぞ」

もう一度、支局長が叫んだ。ノドの奥からしぼり出す
ような声だった。

同時に、胸元をワシづかみした腕が戸波を引き寄せ
た。

鼻腔をいっぺいに開いた、喘ぎに近い呼吸が戸波の頬
をよぎる。

のびきつた無精ひげですが、怒ったように突つ立つて
いる……。

「まだ遅くないのやぞ」

ガブリと噛みついてきそくな激しさで、三たび、その
声が耳に刺さった。

「いやです。もう結構です」

視線が、からみあつた。

だが、それも一瞬だった。一呼吸も置かぬうちに戸波
の体は宙に浮き、加速をつけて墓地の土に叩きつけられ
ていた。

熱い往復ビンタが、頬に鳴った。

「馬鹿野郎……卑怯もの……意気地なし……」

あざやか、としかいよいのないほど強烈な背負投で
あつた。

支局長が、はずみをつけて、そのままのしかかつて
いた。

一方、同僚の八木隼也記者たちは、本社へ直訴して記事の掲載を
実現しようと計画するが、居合わせた支局長らに止められ、不発に終わ
る。一週間後、金原という男がアンケートを支局へ提供していく。それ
は元住民の公害に対する激しい怒りをつづったものだった。

△あらすじ▽ 神戸に君臨する大企業、兵庫製鉄（兵鉄）の公害をなく
そうと、毎朝新聞神戸支局の石津支局長がキンバーンを企画、取材を
すすめていた。昭和四十五年秋のことだ。

仕事への情熱を失い、貰一の女ユカとの情事におぼれていた戸波岐記
者も、十年のキャリアを買われて参加する。たまたま静客にからまれてい
るところを助けてやった兵鉄秘書課の細川亜紀子と親しくなり、亜紀子
は会社首脳の新聞社対策などをそのつど戸波に知らせて協力する。亜紀
子の兄も記者だったが誤報事件のワナにかけられて自殺したのだった。

兵鉄の花房総務部長らは二人の関係をかきつけ、亜紀子を工場勤務へ
と配置がえする。新聞社にも記事とりやめの申し入れをしたらしく、支
局長や泉田次長らは本社へ喰問され、キャンペーンは掲載直前に中止と
決まる。傷心の戸波は、酒に溺れ激情の中で亜紀子をなから暴力的に犯
し、絶望のあまり退社願を提出。その後、たまたま出会った花房総務部
長にひやかされ、殴ろうとして逆に路上に叩きつけられてしまう。ケガ
の見舞に訪れた亜紀子は「すべて、なかつたことにしよう」と告げるが、

看病中のユカの愛情と歓びの心は傾いてゆく。一方、同僚の八木隼也記者たちは、本社へ直訴して記事の掲載を
実現しようと計画するが、居合わせた支局長らに止められ、不発に終わ
る。一週間後、金原という男がアンケートを支局へ提供していく。それ
は元住民の公害に対する激しい怒りをつづったものだった。

あとはもう訳のわからぬなり声とともに、上司の拳は戸波の顔面に炸烈しつけている。

不思議な快感が、そこにあつた。

(ひよっとしたら、この中年男が、腹の中では泣いとるんやなかろうか)

それに違いない——。確かに胸にあふれる。“温かい痛み”が、音をたてて皮膚を裂いた。(もつと、なぐってほしい)と思つたとき、拳の雨は、やんだ。

横たわつたまま、そつと目を開く。

深い秋のいろを帯びた青空が、真正面に広がつていた。

儀式は終わつた、と戸波は思う。

訣別のため、どうしても浴びなくてはならない洗礼ともいえる。手荒らく、温かく、そして、ひどく男くさい儀式——。

気がつくと、支局長は背を向けてすわりこんでいた。

激しい動きのせいなのか、それとも泣いているのだろうが喘いでいた。

三日が過ぎた。

神戸支局の編集室は、熱気のなかで燃えつづけていた。

金原祐介ら地元の人たちの集めたアンケートに花が咲き、実がなつたのだ。確認の取材を積み重ねるたびに、それは重厚な肉をつけていった。とくに、兵庫製鉄従業員のナマの声は、百戦練磨の記者たちも息をのむほどの迫力があつた。

企業意識と住民感情との板ばさみの中で、彼らは彼らなりに良心と闘い、悩んでいる。その赤裸々な声は、読むもののこころを打つだろう。

「読者ですねえ」

うめくように、八木沢がつぶやく。

「おれたちの仕事つて、読者が後援してくれたら、何倍

もの厚みを持つてくるんだなあ」

「なにをいまさら、青くさいこというとるんじや」

支局長が怒つてみせる。が、声とは裏腹に頬はほころびている。

くらい情熱をもて余していた日々がウソのよう、晴れやかな活気が記者たちの回りにあふれた。

書き改められた原稿を点検して、泉田次長が、ふと顔をあげた。

「あす、本社へ行きます」

「うむ、おれも行こう。これだけ整えば、本社だつて考えなおすかもしれんぞ」

「大丈夫ですよ」

そのとき、入口で高い声がした。思いがけない客は大

阪本社地方部の池谷部長だった。

「やあ、突然で失礼」

この男にしては精いっぱいフランクなボーデで片手をあげると、窓側のソファに腰をおろした。

支局長とは社内的には同格である。が、年齢も社歴も古い部長は、やはり先輩めいた姿勢で支局長を手招いた。

そして、秘めごとを打明けるような口調で低くいった
「例の兵庫製鉄の件な、あれ、掲載OKになつたよ」
「…………」

「きのう緊急編集局長会議が東京で開かれてな、そこで承認になつたんや。承認というより、公害問題には社を挙げて積極的に取り組む。相手が一社であろうと、コンビナート的な数社であろうと、遠慮なく書いていこうと、まあ、そういう方針が決まつた」

支局長は、なにか他人事でも聞いているような表情になつた。遠い目で、部長を眺めるばかりであつた。

「その方針でいくとなると、あのキャンペーン、まさに打つてつけの企画やな」

「しかし、この間まで、あれは……」

「そんなことは、もういいのや。とにかく、あれほどタイムリーな力作は地方版だけじやもつたまつない。本紙

の社会面で大々的に掲載していこうやないか」

あざとい豹変——。そのあざとさを恥じる風もなく、部長は言葉を重ねた。

「きっと本社でも評判になるよ。いかにもあんたらしい

鋭い企画やからなあ」

局長や本社という単語は飛び出しが、読者つまり住民

側に対する意識が言葉になつてこない。そのことに支局長はいらだつた。

しかし、部長は「じや、よろしく」と、あっさり立ち上がつた。いつもの熊のような足どりで、たちまち背中が消えた。

入れ替わりに八木沢と泉田がかけ寄つてきた。彼らは彼なりに、聞き耳を立てていたのだ。

「支局長、あの原稿、解禁ですね」
支局長は、かすかに肯いた。むしろ、この男としては不きげんな表情にみえた。

「社会面で扱いたいそうだ」

「へーえ、そいつはまた急に……」
八木沢は、ちよつとおどけてみせた。そうしなれば、気持の表現のしようがないとでもいうよう……。
「でも、よかったです。粘った甲斐がありましたね」
みんなにも、苦労かけたなあ。ほんとによくやつてくれた」

指揮官らしからぬ、しょぼくれた口調だった。どうみても、それは勝利者の勝闘には聞こえない。

「ほかに何かあつたんですか」

泉田が、すばやく察知したらし質問を浴びせてきた。

「いや、なんや急に張りあいがなくなつてなあ」

苦笑まじりでいうと、急に支局長は八木沢を指さして喚いた。

「君、いますぐ戸波のところへ行つてくれ。いなかつたら、神戸じゅう捜して、とにかく支局へ連れてきてくれ。」

「原稿解禁のこと、知らせていいのですね」

「当たり前や。あいつが、このキャンペーンの一一番の功労者やがな」

一気にどなると、声を落として

つぶやいた。

「あの腰抜け、何をボヤボヤして

やがるのや」

だが、その“腰抜け”はアパートにいなかつた。そこはすでに引き払つていて「行先はわからぬ」と管理人の返事がかえってきた。

朝早くの一一番機というせいだろ
うか、大阪発の全日空宮崎便は意
外にすいている。

中ほどの席に腰をおろし、座席ベルトをしめ終わると、戸波とユ
カは目を合わせて、どちらからと



「兵庫製鉄の公害源を衝く」

材木のような見出しをトップに、社会面の七割を占めるキヤンペーンが目に飛びこんできたからだ。

(やった)

鋭角的で、重量感あふれる記事だった。かなり書き改められた痕はあるが、明らかに戸波が取材し、まとめた、部分ものっている…。

(どうとう、やりやがった)

むさぼるように活字を追いながら、ふと吐息が胸底からわき上がり、そのまま、何はともあれ、ユカの実家がある宮崎へ飛ぶ。そこで、結婚の正式な申込みをする。それが、この三日間で決まったスケジュールなのである。

もなく笑みを交わした。

新しい生活の拠点であるユカのアパートに引越した。

二人一緒に芦屋の画廊で働くことも決まった。そしていま、何はともあれ、ユカの実家がある宮崎へ飛ぶ。そこで、結婚の正式な申込みをする。

ユカが、頭をそっと戸波の肩に寄せてきた。

「どうとう、行くのね」

「ああ」

「ほんとに、いいのね」

「また、それをいう」

軽くにらんで、肩を抱き寄せる。体温が戸波の体温に重なる。

スチュワーデスが朝刊を抱えて回ってきた。一部受けとつて、機械的に社会面をひらく。

瞬間、心臓が凍つた。頭の中が、ガンガンと鳴つた。



「ズ „赤いけむり“ を、あすから連載します」

末尾のお知らせ欄にまで目をやると、いつたん目を閉じた。記者たちの顔が一人ずつ浮かんでは消えた。

どんな曲折があったかは知るよしもない。だが、とにかく彼らは勝つた。目的をとげた。その事実が、鋭いムチとなつて戸波を打ちのめしてゆく。

飛行機が動いた。

エプロンから滑走路へ、やがて、軽いショックを残しながらフワッと浮上する。

「あ、飛んだ」

ユカが小さな叫びを上げた。

戸波の心の中を読めないまま、自らの感動に浸つているのだろうか。

しかし、ユカはすぐ真顔に戻つた。ひどく思いつめた表情で、戸波をみつめた。

「お渡ししなければいけないものがあるのです」改まつた口調で前置きすると、足元のバッグの底から

紙包みをひっぱり出してきた。

それは、戸波あての郵便小包みだった。

「引越しの朝、配達された。ごめんなさい。ユカ、なんだか渡したらいけないもののような気がして、とうとう、ここまで持ってきてしまって……。本当に、ごめんなさい」

いまにも泣き出しそうに顔をゆがめながら、くどくど

なかから出てきたのは、男もののセーターだった。黒い、ハイネック——それは、まさしく戸波自身のものである。亜紀子を、なれば力づくで侵したあと、破れたプラスチックの代りにと彼女に与えたあのセーターに違いない……。

あの夜、そして翌朝の情景が、鮮烈によみがえった。ふたりを引き裂いた、残酷な一夜の一つひとつが——。

ユカが、おびえ、ひきつった頬でみつめている。しかし、それを気づかう余裕はなかった。セーターの間からボトリと落ちた封書を認めるべく、戸波はあわただしく封を開いた。細い女文字に目を走らせた。

戸
波

戸波様

ひとり旅に出ます。

会社は、やめました。もう兵庫製鉄とは何の関係もなくなつたのです。

あなたがこの手紙を手にするころ、私は多分、兄が命を絶つたあの九州の町にいるでしょう。兄の友人が、そこで仕事を世話してくれるのは、はずですから。いずれにしても、母の許や神戸には、二度と戻ることもないでしょう。あなたが薄々感づいているように、私は汚れた女です。あの神戸港のヘドロみたいに汚れてしまつてゐるのです。自分の意志に反して、好きでもない男に引きずられ、暗い夜を送り迎えていた、弱くて、ダメな女。大会社の秘書嬢なんて仮面をかぶつて、ほんに愚かな半生でした。

相手の男性は、ご想像にまかせます。でも、もうその男を憎んだり呪つたりなんかしていません。責められるべきは、私自身なんですもの。あなたのセーター。ほんとは頂いてしまつつもりでした。だけど、迷つたすえ送り返すことにしました。過



と言訳をしている。

（なにが、それほどユカを躊躇させたのか）

差出人の名前を見ようと、包みを裏返す。その瞬間、戸波は息をのんだ。

「あ、これは……」

（細川亜紀子）

サインペンの細い字は、はつきりとそう書かれている。ひきちぎるように紐を外す。包みをひらく。

「あ、これは……」

talk and talk



＜神戸っ子愛読者サロン＞

追伸
阪神間の美術館と、その内容を
ほしの
大阪市南区末吉橋通2-17
第一生命保険相互会社関西支局
課 森脇 宏一

★毎月「神戸女子」を読んで、良くなる。神戸の風雲気分が出てる風景紹介の画家のスケッチ入りの頁である。

それに各商店の最も特徴の出してある商品紹介や、流行が見ていて楽しい。使用の紙の質が適当だと思ふ。編集後記と最後の頁のエーモリで結構、結構、追伸、阪神間の美術館と、その内容も紹介してほしい。

去と名のつくものは、あなたをふくめて、すべて葬つてしまわなくては……と思い直したからです。その方があなたにも、そして、あなたの傍にいらっしゃるひとにも喜んでもらえそうだし……。元気で生きてください。

挫折した兄に代って、いつまでもベンを離さないでください。そして、なんの力もない市市民のために、精いっぱい書きつづけてほしい。それが、私の最後のお願いです。

重紀子

突然、ユカが腕にしがみついてきた。イヤイヤをする
ようすで首を激しく振りながら、いまにもあふれそうな涙
を必死にこらえている。

窓外の、はるか下界に神戸の街がみえた。ポートアイ
ランドのすぐ東側の工場群が、赤黒い煙を吐き出してい
る。

訳のわからない衝動が、再び戸波を襲つた。それは闘志ともいえる。静かな敵意と呼んでいいのかもしれない。

戸波は、かすかに胸震いした。ふき上げる煙が目にしみたかのよう、飛行機がぐんと高度を上げた。

(九九)

永い間、ご愛読いただきました「まだ遅くない」も今回で完結いたしました。葉田一郎、小西保文両先生、本当に有難うございました。なお新年号から福元卓夫（第四回ブルーメール賞文学賞受賞者）先生と山本文彦（二紀会）先生のコンビによる連載小説が始まります。どうぞお楽しみに。

います。

★「思ひついたこと」

金木犀の香りが一杯にたどよって
が洗われていくようす。
「神戸っ子」は10月号ありがとうございました。
タウンのこ意見の中の「コミニ
ティ施設としての都市機能の一端を
施設としての都市機能の一端を
には二十日頃になる時があり、雑誌の感覚からすれば月遅れを読ん
でいるような錯覚に陥ることがあり
ます。従つて「神戸の催事」ご案
内が月始めからとなつて、もじ
め、半分は終った後なのです。でも、
発刊が遅いのでしたら翌月にまたが
て、掲載して欲しいと思います。

も紹介してほしい。

第三百八十一回
休隙林至裡開西經和
課 森脇 宏矢

神戸風景のスケッチは、洋画家の
々が多い神戸で、絵になる風景も

り、新年号からカラーの企画も考
ています。乞ご期待！ 美術館な

べくわしきご紹介したいと思つ

△編集部△

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
神戸市兵庫区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食くれない 三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かづばう 吉本
神戸市生田区加納町3丁目95-1
(ニュージャパン別館前) TEL 241-3450

鍋もの・おむすび 悟味西
お茶漬・炉はな 北長狭通1の20 TEL 331-3848
神戸市生田区北長狭通2の3
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび 鮎の里
鮎もの 小さる
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼たこばな 三宮センター街(川柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 蝦夷
神戸市生田区中山手通1丁目115
生田区東門筋東門会館ビル1階
TEL 331-7770

カニ料理 婆婆羅(ばさら)
神戸市生田区北長狭通1丁目18
三宮阪急西口北側レインボーブラザ1・2F
TEL 321-6363

天プラハウス 美術喫茶瀬戸
神戸市生田区山本通3丁目27の9
瀬戸ビル1F TEL 221-6548

★西洋料理
レストラン アボロン
神戸市兵庫区八幡通5丁目6 TEL 251-3231

レストラン 麻雀皮〈あらかわ〉
神戸市生田区中山手2-9 TEL 221-8547・231-3315

GALLERY & STEAK HOUSE SAN-MON 三門
神戸市生田区中山手通2丁目98/99 TEL 331-5817

ステーキハウス れんが亭
神戸市生田区下山手通2丁目34 TEL 331-7168

レストラン セントジョージ
神戸市生田区北野町1丁目130 TEL 242-1234

レストラン 男爵
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード市役所前 TEL 251-2109

鉄板グリル きやんどる
神戸市生田区北長狭通2-22 TEL 331-1183

レストラン フィッシュヤーマンズポート
神戸港第4突堤ボートターミナル
TEL 331-0301

居酒屋 星 ロス・ヒターノス
生田区下山手通3丁目22
下山手セントラルハイツ TEL 391-5431

レストラン ムーンライ特
三宮・生田新道 TEL 331-9554
月六段 生田区元町通3丁目 TEL 331-2108

レストラン スイスシャレー
神戸市生田区北野町3丁目48アニルドマンション1F
TEL 221-4343

フランス料理 ピストロドゥリヨン
神戸市生田区山本通2丁目40-1
TEL 221-2727

ピッフアハウス ピノッキオ
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン フック東店
神戸市生田区栄町1-5-3 TEL 321-3207

ピザ&スパゲティ ガルの店
兵庫区琴緒町5丁目1-7 西山ビル1F TEL 241-9025

ステーキハウス グリル青山
神戸市生田区中山手通2丁目112-2(トアロード) TEL 391-4858

レストラン フック神戸店
神戸市生田区栄町2丁目24 TEL 321-3453

レストラン 元町フルーツホール
フランス料理 元町1番街 TEL 331-1987

ピザ・パブ ピザ・パテオ
神戸市生田区元町通1丁目49(元町1番街)
TEL 331-9378

ナイト火の鳥
神戸市生田区中山手通1丁目27
TEL 242-1330

スカンジナビア料理 レ世界の民族音楽の店
ゴックスタッド
生田区山本通3丁目18 回教寺院前
TEL 242-0131

メキシコ小料理亭 ティファーナ
神戸市生田区中山手通1丁目4-12 パールゴーバスビル1F
TEL 242-0043

ステーキ&ドリンク 黒牛
神戸市生田区中山手通2丁目39の36
TEL 241-3739

ドライブ風 音楽レストラン コーベ・ローレライ
生田区北長狭通6丁目39
TEL 371-0086

★喫茶 にしむら珈琲店

高木のコーヒー 中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872・231-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669
北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶ガーデニア
神戸市生田区東町11-1 大神ビル1F TEL 321-5114

珈琲モーツアルト
神戸市生田区山本通2丁目98 グランドマンション1F
TEL 241-3961

ティー&スナック サボテン
神戸市生田区中山手通2丁目 (神戸女子短大前) TEL 241-7060

ティー＆スナック エボック
神戸市生田区元町通3丁目(浜側) TEL 331-3694

コーヒースポット メディタレーニアン
神戸市生田区北長狭通3丁目(トアロード)アーバンビルB1
TEL 331-2050

club 千 飛鳥
神戸市生田区中山手通1丁目117 TEL 331-7627

club 小万
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

club さち
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

club なぎさ
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

くらぶ 一げん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

club Moon Light
BAR TEL 331-0886・391-2696
Club TEL 331-0157

クラブ るふらん
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK スカラーレット北野
お好み鐵板スナック 神戸市生田区北野町2 北野アーバンライク1F TEL 342-0076

ドリンク&レストラン ベルビュードール
神戸市生田区中山手通2丁目101 大洋ビル2D
TEL 321-5677

スタンド かてな
生田区中山手通1丁目90 英健ビル1F
TEL 331-1316

洋酒ハウス 雜貨屋
生田下山手通2丁目8の6
(生田新道相川タクシー横上る) TEL 321-0260

スタンド グラムール
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

スナック&ドリンク 姫
神戸市生田区中山手通1丁目18 TEL 221-1950

カクテルラウンジ サヴォイ
高架山側 テキの店北 TEL 331-2615

DRINKING IS AN ART OF LIFE ウッドハウス
神戸市生田区下山手通1丁目32 PHONE 078-241-7320

スナック ピジービー
神戸市生田区中山手2丁目 TEL 391-4582

居酒屋 ボルドー
生田新道浜側中央KCBビル1F TEL 331-3575

Wine and something 珍地理屋
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288

club 神戸時代
生田区中山手通1丁目28
モンシャトウコトブキビル TEL 242-3567

ナイトイシ おしゃれ貴族
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザB1 TEL 242-1925

スタンド くる実
生田区中山手通1の72 TEL 331-6985

キヤンティ
本店洋酒の店 神戸市生田区北長狭通2/3
tel 391-3060・391-3010
北店スープとパンの店 神戸市生田区下山手通3/8/9
tel 331-3661

DRINK SNACK スネカリッ子
神戸市生田区下山手通2丁目
水光ビルB1 TEL 391-8708

music spot サントノーレ
トアロード店 生田区下山手通2丁目トアロード
tel 391-3822
北野店 生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトプラザ6F tel 221-3886

素舌洞でつさん
神戸市生田区北長狭通1丁目258
TEL 331-6778

STAND マシュケナダ
生田区下山手通2丁目ちいなダウン地下
TEL 331-5587

スナック GASTRO
神戸市生田区中山手通3-20
トアマンション TEL 231-0723

ティー&パブハウス バスチャーリントン
生田区北長狭通2丁目(トアロード) TEL 332-1125

純会員制 エドワーズ俱楽部
神戸市生田区北長狭通1丁目28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 391-3300

サロン アルバトロス
生田区中山手通り1丁目24の7
大和ナイトプラザ2F-BTEL(231)3300

CAFE WHISKY 音楽の家: ETエトワTOI
神戸市生田区三宮町3丁目 三宮センター街西入口
スカイドアビル3F TEL 332-1755

スナック 山莊
神戸市生田区北長狭通1丁目22 TEL 391-5823

スタンド 紋
神戸市生田区北長狭通1丁目41-1レンガ筋
TEL 331-8858

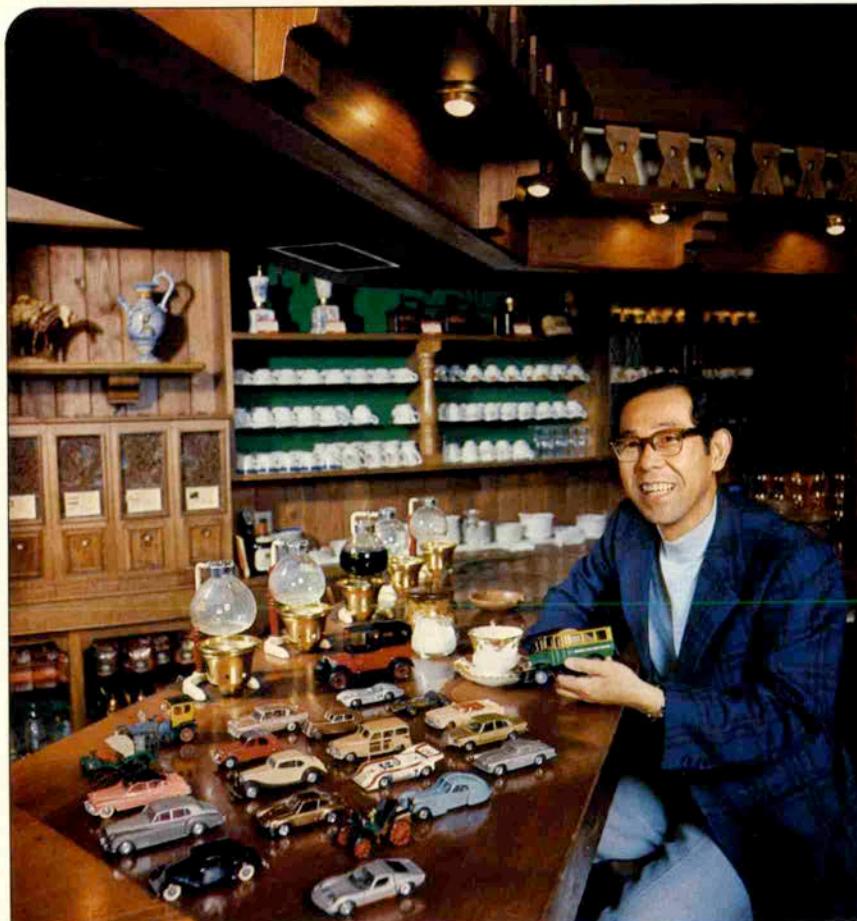
スナック 興志務樂亭
神戸市生田区山本通2丁目60パールライフB1
TEL 242-1977

SNACK LGM
生田区北長狭通1丁目25 生田新道ビルB1 TEL 321-3070
パブ&レストラン アップランド
神戸市生田区加納町3丁目1-34 TEL 241-8271

★KOBE PLAY GUIDE MAP★

★KOBE PLAY GUIDE MAP★
神戸のうまいもんとドリンク キング





balon antique series

〈35〉ミニカー

神林 誠さん

〈神戸大学農学部学生掛長〉

デパートでふと手にしたミニカー。全くのおもちゃではあるが、なんとなく魅かれたのが集め始めたキッカケで10年来のミニカー収集。大阪を中心とした収集グループのメンバーであり、それはもう一流のグループ。そこで交換会をしたり、海外へ注文したりする。

「鉄くずみたいなものですよ」というが、色彩り豊かなそのミニカー、何百台、何千台と並べば、それは壯觀。

センター街店にて
カメラ / 米田定蔵



バルーン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00～PM 9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00～PM 9:00迄

★コーヒーショップ センター街店
TEL 391-1375 AM10:00～PM 9:00迄

Christmas



クラブ ムーンライト

神戸市生田区北長狭通 1丁目24(生田新道)

☎ 331-0157



クラブ 小 万

神戸市生田区中山手通 1丁目85(東門筋)中島ビル 3F

☎ 391-0638・4386



クラブ 鈴

神戸市生田区中山手通 1丁目111

☎ 331-2403



クラブ 飛 烏

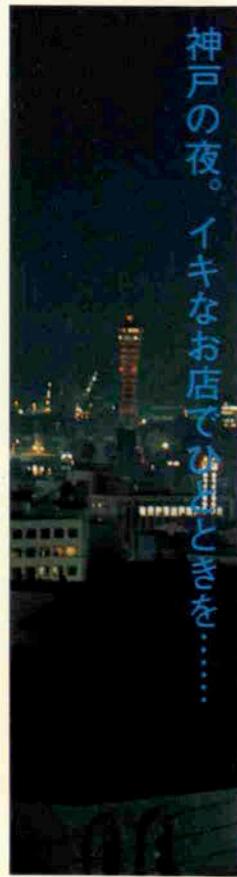
神戸市生田区中山手通 1丁目117

☎ 331-7627



神戸の夜。優雅なクラブでひとときを。

Merry



スタンド マシュケナダ
神戸市生田区下山手通2丁目チャイナタウン地下

☎ 331-5587



カクテルラウンジ サヴォイ
神戸市生田区北長狭通2丁目12(金剛山西入る)

☎ 331-2615



酒肆 ヌべール

神戸市生田区北長狭通2丁目14

☎ 331-9005



スタンド くる実

神戸市生田区中山手通1丁目72

☎ 331-6985



神戸市生田区中山手1丁目24ノ7
大和ナイトプラザBF
TEL 078 (241) 0980
(242) 1925
PM 6:00~PM12:00

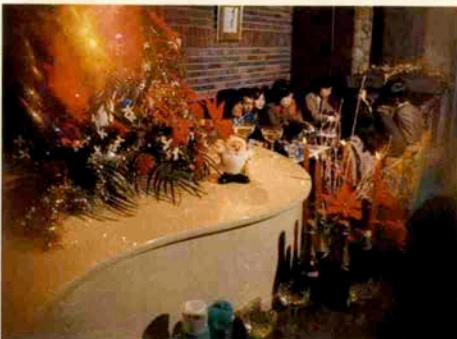
夜に咲く薔薇は
あまく、せつなく
華麗な香りを放つ
女性のために捧げる
甘美なおしゃれ貴族
のひとときは(午後8時)
一輪の薔薇(指名制)との
出会いから始まる

レディスタイル



おしゃれ貴族のナイトたち

Merry Christmas



クリスマスパーティー、忘年会などにご利用下さい

ちくせんミュージックタイム
神戸のター坊による演歌熱唱 8:00p.m.~0:00a.m.



スナック
ちくせん

生田区中山手通1丁目85(東門筋)中島ビル4F ☎331-3131
近藤正実・岩本文夫



PUB & RESTAURANT

U
PLANDS

生田区加納町3丁目

1-34

☎ 241-8271

MERRY CHRISTMAS

山崎
ステーキハウス

生田区中山手通1丁目

前川ビル1F

☎ 391-3335



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32

WOODHOUSE

山内ビル

☎ 241-7320・7983

スナック &
ドリンク

姫

生田区中山手通1丁目18

☎ 221-1950

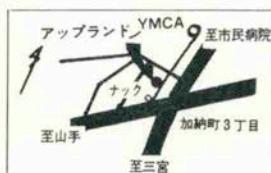


☆『雪が降る……』どこからかアダモの歌声が流れで来る。そんな季節になりました。もう少ししたらジングルベルの響きが流れで来る……。そんな冬の夜をシャレた英國風バブ『アップランド』でゆかいに過ごしませんか。英國ウェールズ出身のD.A.トーマスさんがマスターのこの店は、本場の気安いバブの雰囲気とステキなライブミュージックの店として誰もが大いに楽しく飲んだりしゃべったりできるあなたかな店です。バブ野郎であるトーマスさんの面目躍如というところです。

☆ランチタイム (11:00A.M.~2:00P.M.) ランチ¥ 400 コーヒー、紅茶各¥ 200

☆ローストビーフ¥ 2,700 シェバーズパイ¥ 850 ステーキ&キドニイパイ¥ 600 コーニッシュバースティ(ミートパイ)¥ 600 フィッシュ&チップス¥ 500 J&B、OLD、G&G各¥ 400 ビール¥ 300
平日11:00A.M.~3:00A.M. 日曜6:00P.M.~0:00A.M.

12月28日のみ休み。正月三カ日は6:00P.M.~3:00A.M.



アップランド



ヤマサキ

Merry Christmas

ヒメ

☆ステーキハウス『山崎』は12月21日で満2周年を迎えることになりました。これもひとえに皆様方のお引立ての賜と一同感謝しています。今後ともご鞭撻のほどをよろしくお願ひいたします。

さて、12月に入りクリスマスパーティー、忘年会、新年会の季節となりましたが『山崎』ではご予算に応じまして各種パーティーの予約を承っています。ぜひご利用下さい。マネージャーの橋口までご連絡ください。ご相談をお受けいたします。

☆最上級神戸肉ステーキ¥ 5,000 サーロインステーキ¥ 3,000 テンダーロインステーキ¥ 3,000 車海老のバター焼き、アワビのバター焼き。

ビール¥ 300 ポトル(OLD)¥ 5,000 ポトル(ホワイトホース)、ポトル(カティサーク)各¥ 7,000

5:00P.M.~1:00A.M. 日曜日休み

☆『ウッドハウス』お店の人紹介第4弾はビッグスター歌手チャーリー。彼はたびたび紹介してきましたのでプロフィールははぶきます。そのかわりステキなお知らせを……。来年4月10日土曜日午後6時半、神戸国際会館大ホールにおいて彼がリサイタルを開きます。彼の持っているすべてをこのステージで公開、ボビュラーからブルース、ロックまで何がとびだすやら楽しみなりサタイルです。ぜひ行ってやって下さい。なお、前売券は千円(『ウッドハウス』で売ってあります)。

あなたみる人、チャーリー歌う人。

☆年末年始の営業案内

12月31日④休業。1月1日④2日④3日④は5:00P.M.~1:00A.M. 4日④より平常通り営業いたします。1月18日④19日④20日④は臨時休業いたします。

☆営業時間のお知らせ。平日 / 5:00P.M.~2:00A.M. 日曜 / 6:00P.M.~0:00A.M. 年中無休

ビール(小)¥ 300 水割り(オールド)¥ 400 フィズ¥ 500 わつまみ¥ 100 スパゲティ¥ 400 ピラフ¥ 400 ほか。



ウッドハウス



☆こじんまりとした可愛いお店——『姫』。もこの秋満2周年を迎えました。いつ行ってもなごやかで上品なムードはママの人柄をしのばせます。寒い師走の夜も、この『姫』だけにはいつも春のあなたたかさが漂っています。お酒はやっぱり雰囲気で飲むもの。一ぱいの水割が心地よい酔いに誘うも、誘わないもその店次第。ステキなママがいて、可愛い女の子たちがいて、飲む人の心と心が通い合うお店、本当の通のお店——それが『姫』なのです。

☆ボトル(ホワイトホース、カティサーク、リザーブ)¥ 8,500 水割(リザーブ)¥ 600 ビール¥ 400

6:00P.M.~0:00A.M. 日曜祭日休み